

災害復興に新しい視点を 子ども参加のまちづくり



安部 芳絵 教育推進機構 教職課程科

キーワード: 災害復興、遊び、まちづくり、子ども参加、レジリエンス、PTG (心的外傷後成長)

概要

これまで、災害復興期の子ども支援といえば、**子どもや子育て期の親に対する「保護」が主流であり、心のケアが最優先**とされてきた。しかし、子どもの回復や成長を考えたとき、**子どもや子育て期の親を「保護の対象」ととらえる従来の支援だけでいいのだろうか?**



阪神・淡路大震災、中越大震災、東日本大震災の3つの大震災を経験した子ども・支援者への質問紙・ヒアリング調査から、遊びやまちづくりへの「参加」を通して、子どもたちが回復し、成長する道筋が明らかとなった。つまり、**東日本大震災のような大災害を経験した子どもたちであっても、地域や社会への「参加」を通して周囲のおとなに支えられながら回復・成長することが可能**である。

アピールポイント

- | | |
|--|--|
| <p>【従来の研究】</p> <p>災害後の子ども支援は「心のケア」⇔ 遊びやまちづくりへの「参加」による回復・成長</p> <ul style="list-style-type: none"> 東日本大震災市町村復興計画では63市町村中51市町村が「子どもの心のケア」を施策化した 「子ども参加」はわずか11市町村 (※福島県中心) 災害後の子どもの遊びの意義: 「地震ごっこ」「津波ごっこ」による外在化 災害後に中高生が果たした役割: 「災害体験がアイデンティティ形成に寄与」
「震災後に中高生が果たした役割の記録プロジェクト」 SCJ「子どもまちづくりクラブ」の子どもたち
“支持的な他者 (supportive others)” との出会いによる成長
「震災後外に出るのが怖い」→ 「いつまでも被災地の子どもっていわないで」「被災したぼくらにだってできることがある」 <p>災害大国日本と心的外傷後成長 (PTG; posttraumatic growth) の可能性</p> | <p>【本研究】</p> <p>災害後の子ども支援は「心のケア」⇔ 遊びやまちづくりへの「参加」による回復・成長</p> <ul style="list-style-type: none"> 東日本大震災市町村復興計画では63市町村中51市町村が「子どもの心のケア」を施策化した 「子ども参加」はわずか11市町村 (※福島県中心) 災害後の子どもの遊びの意義: 「地震ごっこ」「津波ごっこ」による外在化 災害後に中高生が果たした役割: 「災害体験がアイデンティティ形成に寄与」
「震災後に中高生が果たした役割の記録プロジェクト」 SCJ「子どもまちづくりクラブ」の子どもたち
“支持的な他者 (supportive others)” との出会いによる成長
「震災後外に出るのが怖い」→ 「いつまでも被災地の子どもっていわないで」「被災したぼくらにだってできることがある」 <p>災害大国日本と心的外傷後成長 (PTG; posttraumatic growth) の可能性</p> |
|--|--|

利用・用途 応用分野

- 次に来る災害に向けて
- 被災地の経験を未災地へ**
3つの大震災において子どもや支援者がどう動き・考え・ゆらいだのかに学びながら、次に来る震災に向けた準備を子どもと共に展開するためのプラットフォームづくり
 - 子ども参加のまちづくりの促進**
災害後に中高生がさまざまな役割を果たした経験を土台とし、日常から子ども参加のまちづくりを展開するノウハウの提供
〔実績: 協力自治体・団体〕
東京都中野区、立川市、神奈川県川崎市、宮城県石巻市
公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンほか

関連情報

- 関連著作
安部芳絵『災害と子ども支援 復興のまちづくりに子ども参加を』
学文社、2016年、第12回こども環境学会論文・著作賞受賞



学文社